



こんにちは

# 村田けい子です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2018.6.15  
No 155

## 2018.6.12 歴史的な米朝首脳会談実現！

### 「朝鮮半島の完全な非核化」「体制保障」で戦争の危機回避

避くターで罵り合っていたトランプ大統領とキム・ジョンウン国務委員長が笑顔で握手し「朝鮮戦争の終結」「北朝鮮の核戦略の放棄」を宣言する歴史的な合意が行われました。アメリカは「北朝鮮の体制保証」を約束し、それに応えて北朝鮮が「核政策の放棄」を約束した形となりました。

朝鮮半島を南北に分断している背景には、資本主義体制を守ろうとしたアメリカの思惑があり、中国に後押しされる形での北朝鮮とアメリカとは長い間敵対してきました。

挑発的な言動で世界を混乱させてきたトランプ大統領とアメリカとの直接対話を引き出したかった北朝鮮とは激しい言葉の応酬で「あわや軍事衝突か」と世界を懸念させる事態を次々と生み出してきました。アメリカが「最大限の圧力」をかけ続け経済制裁を次々と繰り出す中でも水面下での外交交渉を粘り強く続けたこと、韓国の大統領が朝鮮半島での戦争をなんとしても回避しようと仲立ちし、南北首脳会談を、そして北朝鮮と中国の首脳会談を相次いで設定し、その努力が実ってついに北朝鮮とアメリカとの首脳会談を実現させました。水面下での「対話のチャンネルを開こう」との必死の努力が今日の歴史的会談・合意を招き寄せたのだと韓国大統領の勇気ある、そして誠実な対応に心から感謝したいと思います。

### 《対話だけが平和を築く！》

それに引き換え、日本の安倍首相の「圧力一辺倒」の発言、世界各地でも「圧力を弱めるな、対話のための対話は意味がない」とばかりの対話否定論を振りまき、世界の緊張を高める事ばかりの対応は、世界と日本国民の願いを踏みにじった危険なものでした。

日本共産党は「圧力も対話を引き出すためのもの、対話で問題解決を」と書簡を関係各国の大使館に送り、冷静な話し合いの実現を呼びかけてきました。その対応が、改めて世界の流れであること、正しかったことが証明されました。

会談と合意は新しい展開を拓きます。トランプ大統領はさっそく「対話が続く限り米韓共同軍事演習は中止する」と表明しました。安倍首相が北朝鮮の脅威を煽り、戦争法を強行し、憲法を改悪して「戦争できる国づくり」をねらう根拠は崩れました。

改めて「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」(憲法前文)という精神の現実的な力を証明することとなりました。

### 憲法改悪反対！

### 危険な安倍政権の即時退陣を求めます。

\* 高度プロフェッショナル制度(残業代ゼロ制度)の必要性を示すデータは、法案作成後につくられていたこと、しかも「企業が選んだ人からの聞き取り」であったことが明らかとなりました。

### 残業100時間まで認め過労死を合法化する「働き方改革」は廃案に。



栗の雌花が咲いています。

今週のパチリ

いつも大きな実をどっさりつける我が家の栗の木。今年も花が咲きました。こちらに来るまで知らなかったのですが、栗の花には雄花ばかりのと、根元に雌花のあるものとの2種類があります。雌花はやはり、どっしりとした体を持っていて頼もしい。何倍もの雄花ばかりの花から花粉をもらって受粉し栗の実になるんですね。飛び回る昆虫が少ないと自然界でも受粉しないこともあるようです。



# 地域の話

## 「五無齋保科百助生誕150周年記念事業」

のべ250人の参加で大成功！ご協力ありがとうございました。

立科の生んだ偉人、五無齋さん生誕150周年を記念し、改めて五無齋さんの偉業を顕彰する五無齋ウィークが盛会のうちに終了しました。大勢の読者のみなさんご参加もあり成功させることができました。本当にありがとうございました。又実行委員会のスタッフのみなさんの献身的な活動、本当にお疲れ様でした。

五無齋ウィークはお話バスケットのみなさんによる紙芝居「石を集めた五無齋さん」の上演からスタート。千代原福太郎氏作画の紙芝居は、音楽の選択、語りの見事さと相まって五無齋さんの生涯をしっかりと伝える素晴らしいものでした。



立科中学美術部の生徒も参加したカルタ大会

続いて、五無齋さんの狂歌に絵を付けたカルタ大会。原画を担当していただいた美術部のみなさん、会員、参加者も全員参加でカルタ大会。狂歌が読み上げられ、絵札を探す。ワーワー言いながら熱戦が繰り広げられ、優勝したチームには、五無齋さんにちなんだ銘物スイーツがプレゼントされました。



「五無齋さんを生んだ立科町という郷土に誇りを持ってほしい」と語る宮坂教育長

会場いっぱい  
の参加者

五無齋の語った未来

図書館建設	自ら大八車を引く
信州大学	保科塾
信州博物館	長野県地学標本

夢をもち、郷土を愛し、子どもたち  
(=未来)のために、考え、実践した人



「明治という時代が五無齋を後押しした」と語る田辺先生

夢を持ち、郷土を愛し、子どもたち(未来)のために考え実践した人。

五無齋さんの掲げた理想は、長野図書館建設、信州大学、そして信州博物館の建設につながった。

「殖産興業」の明治のスローガンは五無齋さんの活躍を引き出し、後押しした時代だった。



五無齋さんはジャーナリストでもあった。信濃公論から見る活躍・主張。



「狂歌が素晴らしいので、絵に描かない」と語る森獏郎氏。

### 板画展



石に絵を描くプロジェクト・個性なお地蔵さんの数々。

「五無齋記念館をぜひ、作ってほしい。五無齋さんの狂歌をぜひまとめたものを」と今後の活動に対し希望を語られた。

